

News Letter

2000 .
9 . 10

今回のMENU 近況報告 特集 下半期の活動予定 子育てネット 活動報告

協会近況報告

今年の夏は本当に暑い日々でした。現在、協会で行っています「自然体験学習事業」の候補地として乗鞍高原に行ってまいりましたが、現地の方によると「ここ10年の間に従来は生息しなかった植物が高原に生息するようになり、地球の温暖化が確実に進んでいる」ということでした。そのことが実感できる夏でした。

さて、会員の皆さんに7月から9月初旬までの活動の状況をお届けいたします。

現在、協会が全力を挙げて取り組んでいる主な事業活動は「自然体験学習」（事業名称：グローバルキッズクラブ）と「民間協力英会話事業」（事業名称：国際理解教育事業）ですが、特に後者の事業は協会の目指す「教育の民間委託」に向けた重大な事業です。

前回のニュー・ステラでお知らせいたしましたように、この7月1日に長野県茅野市でこの事業は協会長野支部がスタ・トさせましたが、文部省の事業として初めて民間との協力事業が始まっています。第2面に特集いたしましたように、東京事務局でもこの事業を大宮市教育委員会と協力してスタ・トさせました。今、確実に民間と行政との関係作りが大きく動きつつあります。協会としても各地の支部と協力してこの事業が官民協力のモデルになるように、様々な地域の方々を巻き込んで「NPOの活動はこのようにやるのだ」というものを作っていきたいと考えております。

この7月～9月では自然体験学習の準備も進めました。これも第3面に特集しましたが、東京事務局で全力を挙げてこの事業の準備を進めておりますので、ご興味のある会員の方は協会までご連絡下さい。

また、読売新聞6月14日全国版に協会の広報を乗せました「子育てを地域で」というテーマの事業も会員の皆さんから応募があり、実施地区は大宮・横浜に決

定いたしました。全国の市民が手をつなぎ、協力するためのネットワーク作りを推進したいと思います。協会では子どもたちを支えるネットワークの主体となって活動して参りたいと思っておりますので、会員の方々のご理解とご協力をお願いいたします。（記 吉田博彦）

協会の主な出来事（東京事務局所管）

これ以外にも各地区本部ごとの活動がありますが、全部の活動が正確に報告されておりませんので、東京事務局所管のもののみを掲載しました。今後は地区の活動を掲載して参りたいと存じますので、ホームページへの報告をお願いいたします。

- 7月 2日 大宮教育シンポジウム
- 7月 9日 教育支援協会通常理事会（東京）
- 7月10日 事業運営委員会（東京）
- 7月15日 大宮外国語事業説明会
- 7月20日～23日 大学公開講座・名城大学
- 7月21日・22日 大学公開講座・千葉大学
- 8月7日～11日 乗鞍高原視察
- 8月7日～10日 大学公開講座・岡山大学
- 8月 6日 大宮外国語指導者研修会
- 8月18日 学社融合フォーラム
- 8月19日 学社融合フォーラム
- 8月26日 茅野市外国語事業視察
- 8月27日 乗鞍高原第2回視察
- 8月29日 大宮外国語指導者研修会
- 8月30日 セントジョンアンピランスとの自然体験指導者育成事業打ち合わせ
- 8月31日 横浜まちづくり百人委員会との会合
- 9月 1日 大宮市地域で進める子ども外国語学習実施協議会開催
- 9月 2日 大宮市子ども外国語学習事業開始
- 9月 7日 自然体験活動協議会開催

特集**地域ですすめる子ども外国語学習事業**

これまでもニュー・スレタ・でお伝えしてきましたが、今年の協会の主要な事業がこの事業です。右の表にまとめましたように、協会の各地の会員が全国でこの事業を引き受けていますが、今後の教育の民営化に向けた流れを作るためにも、この官民協力事業を、来年度、全国に拡大していきたいと思えます。

文部省民間教育事業室もこの事業の継続を決めており、協会としても協力を約束していますので、来年度への状況を打診した結果以下のような返事がありました。

今年度は全国の31市町村で実施〔協会では5地区で事務局を引き受け、4地区で協力関係を組みました〕

来年度も本事業は継続する

各県には9月に予算の説明を行う

そのため、協会の会員で本事業を各地域で行う場合、今年の10月には各市町村の教育委員会に本事業の実施に向けた働きかけを行う必要があります。

協会では会員から申し出があれば、以下のような手順で本事業の指導を行う予定です。

協会事務局へのご連絡受け付け後、希望があれば大宮での実施状況を見学し、その後、その地区での実施に向けた協議をその会員の方とすすめる。

作成した資料を地元の教育委員会に持参する。その結果、了解が得られれば、教育委員会の担当者と協会が担当している地区の実施状況見学案内する。

1月には実施計画書の作成に入る。

会員の方にご理解いただかなければならないのは、本事業を実施するように地元の教育委員会に話を持っていく場合には、1度や2度は断られるのを覚悟していただくことです。ただし、昨年と比べて今年は協会としての実績がありますから、昨年経験されたように「どこの馬の骨」ということはないと思えます。それでもまだまだ民間と公教育の間には垣根があることは確かです。

2002年には新しい指導要領の実施が予定されており、この指導要領は「地域に学校を開く」ことを前提に作成されているのですから、地域のためにも民間からの協力体制をぜひとも準備していきたいと思えます。

全国の事業実施状況

埼玉県大宮市 7月に大宮市内の全小学校に募集チラシを教育委員会を通して配布し、千名を超える応募者が殺到した。抽選の結果697名に受講許可を出し、9月2日から授業がスタートした。文部省からの委嘱予算は6百万。運営は協会の大宮事務局が中心となって埼玉周辺の民間教育機関や英語指導者に協力を呼びかけ、約70名の方々が参画している。また、外国人講師も、市の講師をされている外国人の方が協力を申し出てくれ、約15名の講師が参加している。会員が教務・総務の仕事に分かれて、実施協議会の事務局の仕事を担当している。市の教育委員会や公民館の方々とはこの事業を通して関係ができ、その他の事業についても協力体制ができつつあります。

長野県茅野市 本事業を長野県支部担当のいずみ書房が7月から授業を行っており、授業も順調に運営され、10月までで終了する。市の教育委員会も来年度の継続を検討しており、教育の民間委託に向けたモデルとなりつつある。

愛知県犬山市 中部地区本部担当のモノリスが中心となり、9月より指導を開始する。犬山市の協議会では一部の委員に「民間」に対する反発もまだあり、準備段階で様々な問題が生じている。

広島県神南辺町 中国地区本部担当の須田塾が中心となって、地域のボランティアを募集し、7月に授業が始まった。この地区は夏休み集中講座の形式を取り、8月までで授業は終了した。受講した500名を対象に学習の継続を希望する子供たちを募集し、支部として公民館などを使ってこの事業の継続を進めている。来年度は福山市での事業を行うため、準備を進めている。

鹿児島県鹿屋市 協会の南九州支部担当の地元放送局MBCのカルチャーセンターとMEC南九州が協力して外国語の事業を進めている。授業の開始は10月で、現在それに向けての体制作りをすすめ、県の教育委員会や鹿屋市と鹿児島市の教育委員会との会合を持っています。やっと行政側の理解が得られはじめたというところまでこぎつけた。

教育支援協会 2000年下半期の活動内容とスケジュール

教育支援協会では、教育の民営化に向けた活動として、今年度の上半期、2ページに特集した「小学校での英会話事業」に取り組んできましたが、今年度の下半期に以下の事業を予定しております。

小学校での英会話事業に関連する事業

子育て支援事業「ファミリーフォーラム」

自然体験学習事業「グローバルキッズクラブ」

以上の事業以外にも各地区の支部単位での活動があります。活動に興味がある方や参加されたい方は東京事務局までご連絡下さい。

以下にそれぞれの事業の活動状況とスケジュールをお知らせいたします。

小学校での英会話事業に関連する事業

この事業は来年度の拡大に向けて2ページに記載いたしましたように、協会では全国への普及活動を進めてまいります。

その活動と並行して、平成14年からの総合的な学習の時間における、小学校への民間講師の導入を実現するため、外国人講師(ALT)の問題をテーマに、来春、教育シンポジウムを開催する予定です。

当初はこの秋を予定しておりましたが、準備不足のため、予定を延長いたしましたので、ご了承下さい。詳細が決定次第お伝えいたします。

名称：教育シンポジウム「日本の小学校における英語教育と外国人講師のあり方」

場所：カナダ大使館シアターホール(東京・赤坂)

子育て支援事業「ファミリーフォーラム」

前回のニュースレターでもお知らせいたしておりましたが、「地域で子どもを育てよう」をテーマに、協会では市民ネットワーク作り事業の準備をすすめてまいりました。

この事業は2つの活動から成り立っています。

一つは市民への理解を求め、ネットワークへの参加を呼びかけるためのシンポジウムの開催です。これには現在、大宮・横浜・熊本の会員から開催の希望が寄せられており、最終ページに記載いたしましたようにシンポジウムの開催が決定いたしました。

もう一つは「子育てハンドブック」の作成です。

このハンドブックは3部構成で、母子手帳の延長線に位置する「子育て記録」のページ、子育ての支援活動を行っている団体や機関をまとめたイエローページ、協会の特別顧問の上里先生がまとめられた「子どもの規範」をまとめた提言のページから編集されます。

このハンドブックは各市町村単位に作成され、各地区の教育委員会との協力により、その地区の全小学校の先生方や小学生の子どもを持つ全家庭に配布いたします。

協会にとっては大きな事業ですが、厚生省管轄の社会福祉・医療事業団からの助成金を受けられましたので、ぜひとも実現したいと思っております。

自然体験学習事業「グローバルキッズクラブ」

この事業に関しましては、今年の年頭から準備を進めて参りましたが、ようやく事業の方向・活動の内容が確定しました。

前回のニュースレターでお知らせいたしましたように、協会では文部省の主導で作られた自然体験活動推進協議会(CONE)に加盟し、11月までに自然体験活動指導者養成プログラムを自主作成し、同協議会で認証する「自然体験活動指導者育成団体」としての登録を行います。

これに認められますと、公的な自然体験リーダー認定の講座開設を教育支援協会ですることができるようになります。そのことにより、教育支援協会は公的な資格を付与できる団体となり、今後この資格を得た自然体験学習リーダーを中心にして、学校における自然体験活動を企画・運営できればと思います。

現在、協会の「自然体験学習事業」に参画いただいている会員の方々と、外部の協力団体(NPO セントジョンアンビランス、創造教育センター、野性学園)の協力をえて、来年3月には講座の開設ができるように準備を進めております。

本事業への参画は随時受け付けておりますので、ご希望の方は協会事務局へご連絡下さい。

「地域で子どもを育てよう」シンポジウム

前ページでご案内いたしましたように、協会の今年度事業活動として、ファミリーフォーラム事業があります。

協会では、今年からこの事業に取り組み、子育てを地域や社会で支援していく体制作りを始めます。その活動の一環として以下のスケジュールでシンポジウムを開催いたします。

シンポジウムでの講演者・出演者など詳しいことは各地区の実行委員会で協議に入りますので、決まりましたら、次回のニューズレターでお知らせいたします。

なお、この事業は厚生省管轄の「財団法人社会福祉・医療事業団・子育て支援基金」の助成事業として行います。

「地域で子どもを育てよう」第1回シンポジウム

日程：平成13年1月13日 午後1時半～午後4時
場所：大宮市ソニックシティホール（定員500名）

「地域で子どもを育てよう」第2回シンポジウム

日程：平成13年2月10日 午後1時半～午後4時
場所：横浜市みなとみらいハマギンホール（定員1000名）

「地域で子どもを育てよう」第3回シンポジウム

（未定）

活動報告「大学公開講座」

今年の夏、千葉大学・岡山大学の2国立大学と名城大学の協力をえて実施した、大学公開講座「グローバルキッズサイエンスアカデミー」が無事に終了いたしました。

名城大学と千葉大学（7月20日～23日）は数学における「計算」テーマにした講義と実際に計算機を作るという実習が行われました。参加した小・中学生は四方教授・井宮教授という日本の数学をリードする先生方の指導に最初は慣れなかったものの、「いろいろ知らないことがわかった」と感想を述べていました。

また、岡山大学（8月7日～10日）には14名の小・中学生が参加し、テーマが「食と農」であったために、炎天下での農作業のあと実際に収穫した果物を試食したり、合鴨農業の実習があったり、大変だったけれども今後の大学公開講座の方向を示唆してくれるものでした。

来年度は全国募集を行い、この活動をもっと拡大していきたいと思えます。

協会HPの活用をお願いします

これまでも呼びかけておりますように、教育支援協会のホームページは会員相互の意見交換や体験学習の発表の場として使用できるように、掲示板機能を設けてあります。現在、英会話事業を中心に各地区から情報が寄せられておりますが、どうかこれを活用いただき、各会員からの情報発信をお願いいたします。

協会事務局ではその声にお応えし、連絡を取り合い活動を進めて参ります。主体的にご提案を頂くことで活動がひろがって参ります。どうか、このホームページをご活用下さい。

ホームページアドレス

<http://www.alc.co.jp/oss/oss4/super.html>

緊急募集

文部省より以下のような協力要請がありました。

政府ではASEAN諸国に対する支援事業として、各国から高校生の留学生50名を来年度日本で引き受け、全国の職業系高校に1年間通学させる計画を進めています。この事業を支援してもらえないかということです。

具体的にはホームステイをはじめさまざまな世話をするだけでなく、協会のすすめる地域での教育活動を通して国際協力の輪を作っていくことが期待されています。この事業に興味のある方は協会事務局までご連絡下さい。

教育支援協会

〒105-0003 東京都港区西新橋3-23-5 御成門郵船ビル

東京事務局

03-3434-0352 FAX 03-3434-0353 E-mail super-k12@mua.biglobe.ne.jp

中部連絡事務所

052-800-1055 その他地区の支部連絡場所は現在設置中です。